

(4月26日) : 休暇後もベトナム株は横ばいか

上場企業はわずかではあるが市場を押し上げる材料を示したので、ベトナム株式は休暇後に少し上昇するかもしれない。

ホーチミン取引所のVN指数は先週金曜日に0.57%上昇し979.64ポイントで取引を終えた。

VN指数は先週合計で1.4%上昇し、2週連続下落した後の初めての上昇週になった。

Vin関連株、ビンググループ(VIC)、ビンホームズ(VHM)、ビンコムリテール(VRE)は先週の反発の主な要因になった。

それら3銘柄は先週5営業日で3.3-6.2%上昇した。

金融、銀行セクターはまちまち。ベトコムバンク(VCB)、ベトナム投資開発銀行(BID)、SSI証券(SSI)、ホーチミン市証券(HCM)などはほぼ変わらずだった。

一方、日用品関連企業は相場の重しになった。ビナミルク(VNM)、サイゴンビールアルコール飲料総社(SAB)、マッサングループ(MSN)などは下落して週を終えた。

流動性は低く、企業からの支持材料が少なく、休暇前だったこともあり相場への参加者は少なかった。

出来高は1億5460万株で、売買代金は3.35兆ドン(1億4400万ドル)であった。先週よりはわずかに増加した。

ハノイ取引所でも同様の動きで、HNX指数は0.49%上昇し107.46ポイントで取引を終えた。

HNX指数は先週合計で1.49%上昇した。

サコムバンク証券(SBS)のDuong Hoang Linh氏によると、VN指数は965-990ポイントの範囲で低い流動性の中動いている。

“大型銘柄が第1四半期決算を発表するにつれて、市場を上昇局面に戻し短期的な市場への資金流入を誘い込む良いニュースがなくなっていく”と同氏は語った。

投資家は市場に参加するつもりはなく、いくつかの株はさらに割安になるかもしれないと言った。

市場は休暇明けも横ばいで動くと予想されている。いくつかの反発はあるかもしれないが、本格的な反発にはならないだろうと思われる。

サイゴンハノイ証券によると、下落時の流動性はベトナム株にとってとても大きな要因である。

“金曜日の上昇はテクニカル的な反発にすぎず、テクニカル指標がさらなる下落を示唆する中で流動性も下落している”と同社は語った。

“デリバティブ市場で注目をするべきなのが、VN30 指数先物 5月限で現物の VN30 指数が 890.55 ポイントで取引を終えたのに対し 13.55 ポイントほど下落して取引を終えている。”

“つまり投資家は株価は下落すると考えている”と SHS は語った。

今週の取引は世界市場の相場とニュースによって動くだろうとされている。

安い株を拾うことができるので、今年の5月は売るタイミングにはならないとアナリストたちは語っている。

ベティンバンク証券の Nguyen Hoang Viet 氏によると、投資家は株を拾い、保有し続ける時だとのことである。

急激な調整があれば、大型優良株が安くで拾えるチャンスがくるだろうと言った。

5月には直近数週間で売られすぎた株が上昇する大きな余地があるとベトナム国際証券のアナリストは語った。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。